

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	山口学芸大学
設置者名	学校法人 宇部学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門 科目	合計		
教育学部	教育学科	夜・通信		12	80	92	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00006-0.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山口学芸大学
設置者名	学校法人 宇部学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.y-gakugei.ac.jp/info/foundation/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元高等学校教頭	平成28年4月～令和2年3月	学校法人の運営に多様な意見を取り入れ、経営機能の強化を図る。
非常勤	元高等学校教頭	平成31年4月～令和2年3月	〃
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山口学芸大学
設置者名	学校法人 宇部学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各教員は、シラバス作成要領に則り、授業形態(方法)、ナンバリングコード、授業概要、達成目標、15回の授業計画、成績評価の方法・基準に加え、成績評価フィードバックの具体的方法、時間外学習の内容や時間、その参考となるテキスト・参考書等を明確に記載している。</p> <p>令和元年度からは、授業科目毎に、ディプロマ・ポリシーと達成目標との関連性を明示するとともに、学習意欲や定着度を高めるアクティブ・ラーニングを推奨するため、その内容の記載欄を設けた。</p> <p>本シラバスは、「講義概要」として印刷し、年度当初のオリエンテーション時に全学生及び教職員に配布し、本学ホームページ上でも公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p><a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/syllabus_gakugei2019.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/syllabus_gakugei2019.pdf</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学では、カリキュラム・ポリシーに評価の方針を明記するとともに、学則及び「履修方法に関する規程」、「単位認定及び試験に関する規程」に、卒業要件等に関する事項や成績評価の方法・基準を定めている。これらは、全学生及び教員に配布する「学生ハンドブック 2019」にわかりやすく記載し、年度当初のオリエンテーションで学科教務担当から説明している。</p> <p>各授業においては授業担当者が、前段で記載した各規程に則った授業ごとの評価方法・基準をシラバスに示し、初回の授業時間に学生に周知している。シラバスには、筆記試験や実技試験、レポート、プレゼンテーション、制作作品、グループ活動の貢献度等、多様な方法を評価割合とともに示し、評価基準は、評価で重視する観点などを示している。授業担当者は、各規程やシラバスに示した評価方法・基準に基づき、総合的かつ厳正に評価を行い、単位認定をしている。</p> <p>卒業論文も卒業要件の必修科目とし、通年のゼミナールとして概ね 30 時間で 2 万字以上の論文執筆を指導する。その際、題目届や論文・要旨集原稿の提出期限の厳守、最終報告会での報告を義務づけている。シラバスには、主査が総合的評価 80%、副査が研究成果の評価 20% という評価方法と 5 つの評価基準を明示しており、総合得点で厳格に単位認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、成績評価については、学則第 35 条に規定されている S (100～90 点)、A (89～80 点)、B (79～70 点)、C (69～60 点)、D (60 点未満) の 100 点法・5 段階評価に加えて、G P A の仕組みを導入している。</p> <p>G P A は学内の運用規程で定めた算定方法 (S の単位数×4+A の単位数×3+B の単位数×2+C の単位数÷履修登録単位数) により、学生部教務課が学期 G P A 及び通算 G P A を算出し、学科教務担当教員に通知している。当該運用規程には、履修登録科目の途中放棄等の留意点も明記している。</p> <p>通知された学生ごとの数値はチューターや指導教員を通じて学生に知らされ、学生は履修計画の作成に、教員は修学指導に活用している。特に、学期 G P A 1.00 未満が 2 期、または 3 期連続する者には面接指導を行うなどして、退学防止に努めている。</p> <p>また、各学年の G P A 分布状況を、教授会で情報共有して学年全体の成績の現状や成績不振者の把握に努めている。</p> <p>ホームページ上には、G P A の算出方法及び分布表を公開して、学生が自分自身の成績の位置を確認できるようにしている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>GPA 制度  <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00008-0.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00008-0.pdf</a></p> <p>GPA 数値分布状況  <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00002-0.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00002-0.pdf</a></p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学は、建学の精神「至誠」を踏まえ、教育理念「芸術を基盤とする教育」を通じて、豊かな教養と人間性を備えた教育者・保育者の育成並びに社会の期待に寄与することを目的としており、これらの建学の精神・教育理念・教育目的を踏まえて、学生が身に付けるべき資質・能力の目標を明確に示したディプロマ・ポリシーを策定している。</p> <p>ディプロマ・ポリシーは、全学生、教職員に配布する刊行物「学生ハンドブック 2019」に掲載してオリエンテーション等で周知するとともに、ホームページ上にも公表している。</p> <p>卒業の認定に当たっては、ディプロマ・ポリシーに則り、基盤的学士力を修得し、教育学部において定める資質・能力を身につけていること、かつ、大学に4年以上在籍し、学則や学位規程、履修規程等に定められた要件が満たされていること、さらに、教員養成の機関として免許・資格取得状況について等を、教授会で確認・審議し、学長が決定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/policy/">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/policy/</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	山口学芸大学
設置者名	学校法人 宇部学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-5.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-5.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-2.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-2.pdf</a>
	<a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-3.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-3.pdf</a>
	<a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-4.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-4.pdf</a>
	<a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-6.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-6.pdf</a>
財産目録	<a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-6.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-6.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-1.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-1.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-7.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00019-7.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 山口学芸大学事業計画 対象年度: 令和元年度)
公表方法: <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00001-00.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00001-00.pdf</a>
中長期計画(名称: 対象年度: )
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/self-evaluation_2018_yg.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/self-evaluation_2018_yg.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/evaluation_report_2018_yg.pdf.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/evaluation_report_2018_yg.pdf.pdf</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 山口学芸大学教育学部
教育研究上の目的 ( <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/split/">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/split/</a> ) (概要) 本学の教育研究上の目的は、学則第 1 条に、本学の教育理念「至誠」に基づき、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、もって豊かな教養と人間性を備えた教育者の育成並びに社会の発展に寄与することと、規定している。 また、本学は、この目的を具現化するため、かつ、学生や保護者にとって、建学の精神や教育の理念との関連も含め表現をよりわかりやすくするため、全学生・教職員に配布する「学生ハンドブック 2019」の巻頭に、「次のような教育者・保育者の養成を目的とします。」と、4 点を明示している。 ・ 芸術を希求することによって自己の人格を高め、豊かな人間性を身につけた教育者・保育者 ・ 生涯発達の視点から、乳幼児・児童生徒の生活実態や発達・学びの連続性を理解し、高度な専門性を身につけた教育者・保育者 ・ 社会全体で子どもを育てていくことの重要性を踏まえ、地域の資源を活かしながら専門機関、家庭、地域社会と連携・協働できる教育者・保育者 ・ 時代のニーズに柔軟に対応し、個性豊かな人材の育成や平和で文化的な社会の構築を担うことのできる教育者・保育者
卒業の認定に関する方針 ( <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/policy/">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/policy/</a> ) (概要) 本学は、建学の精神・教育の理念・教育目的に基づき、大学の 3 つのポリシー(卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針)を一体的に策定している。 そのうち、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)については、「基盤的学士力(4 つ)を修得し、さらに、教育学部において定める資質・能力(5 つ)を身につけ、かつ、所定の在学期間を満たし、基準となる単位を修得した者に対して卒業を認定し、学士(教育学)の学位を授与します。」としており、各資質・能力(求める学修成果)を平易な表現で具体的に示している。 各資質・能力の項目は以下のとおりである。 1. 基盤的学士力 (1) 知識理解 (2) 汎用的能力 (3) 態度・志向性 (4) 総合的な学習経験と創造的思考力 2. 学部において定める資質・能力 (1) 芸術を通して培われる豊かな人間性 (2) 人間の成長・発達・学びについての専門的知識

- (3) 人間の成長・発達・学びを支えるための専門的技能
- (4) 教育的愛情と使命感に基づいた教育実践力
- (5) 教育に求められ、グローバル社会に対応したコミュニケーション力

教育課程の編成及び実施に関する方針 (<http://www.y-gakugei.ac.jp/info/policy/>)

(概要)

本学の「教育課程編成・実施の方針」では、まず、「本学のカリキュラムは「教養科目」と「専門科目」から編成しており、教養科目では豊かな人間性と格調高い人格を有するための「芸術文化」等の多様な科目群を、専門科目では初等幼児教育専攻と中等教育専攻の各専攻に合わせた特色ある科目群を設置する」、としている。

次に、教育内容については、各専攻の専門科目における「学科目」、「子ども学」、「芸術表現」、「ゼミナール」等、科目区分ごとの教育内容、教育方法、評価についての各方針を、以下のとおり示している。

#### 教育内容

##### (1) 初等幼児教育専攻

- ・ 教育者・保育者としての人間的資質と高度な専門的知識を修得する科目群(学科目)
- ・ 子どもの成長と発達の連続性を理解し、実践を通して子どもと関わる資質を修得する科目群(子ども学)
- ・ 教育・保育に必要な豊かな芸術表現力、並びに芸術の素晴らしさや可能性を子どもたちに伝える力を修得する科目群(芸術表現)
- ・ 学問的体系に基づく専門的知識、論理的思考力と分析力を修得する科目群(ゼミナール)
- ・ 乳幼児、児童生徒と関わる中で課題を見出し、実践する意欲と教育者・保育者としての資質を修得するための科目群(教育実習・保育実習・実践演習)

##### (2) 中等教育専攻

- ・ 教育者としての人間的資質と高度な専門的知識を修得する科目群(学科目)
- ・ 児童や生徒の成長・発達の連続性を理解し、実践を通して児童や生徒と関わる資質を修得する科目群(子ども学)
- ・ 学問的体系に基づく専門的知識、論理的思考力と分析力を修得する科目群(ゼミナール)
- ・ 生徒と関わる中で課題を見出し、実践する意欲と教育者としての資質を修得する科目群(教育実習・実践演習)

##### (3) 教育方法

教育者・保育者としての資質の修得を促進するために、1年次から



見学実習を取り入れます。小規模大学のメリットをいかし、討論、プレゼンテーション・グループワーク・ロールプレイングなどの機会を保障します。4年間の学びの集大成である卒業研究については、論文執筆提出の後、卒業研究報告会での発表を義務づけます。

(4) 評価

各科目の評価方法は、シラバスにおいて明確に示します。筆記試験、実技試験、レポート、課題作品、グループ活動の貢献度などの多様な方法を含めて総合的に評価をします。さらに学生が自らの学びの過程を振り返ることができるように評価をフィードバックさせます。

入学者の受入れに関する方針 (<http://www.y-gakugei.ac.jp/info/policy/>)

(概要)

「本学では、次に示すような能力、適性、意欲などをもち、教育職・保育職をめざす人を求めています。」としている。

- (1) 高校段階までの基礎的な知識、思考力、判断力、表現力、主体的に学習に取り組む態度を備えており、さらに教育・保育に関する専門的知識を学ぶ意欲がある。
- (2) 芸術に関心を持ち、感動する心や表現する意欲がある。
- (3) 自ら調べたり、意見をまとめたり、協力したりするなどの学習における基礎的スキルがある。
- (4) 愛情をもって乳幼児・児童・生徒に接し、子どもを支えることに喜びを見出せる。
- (5) 人としての常識や人権意識をそなえ、他者と積極的にコミュニケーションをとることができる。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00009-0.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
教育学部	—	14人	4人	3人	人	人	21人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		50人					50人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		<a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/teacher/">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/teacher/</a>					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>山口学芸大学及び山口芸術短期大学F D・S D委員会規程」を定め、本規程に基づいて活動を行っている。本学は、小規模な大学であるため、教員と職員が一体となった教職協働体制で業務を行っており、教員のF D活動と事務職員のS D活動をともに実施している。</p> <p>F D・S D委員会では、(1)教育研究活動の改善の立案に関すること、(2) F D・S D研修プログラムの企画と実施に関すること、(3) F D・S D研修活動に関する情報の収集と提供に関すること、(4) F D・S D活動の点検に関することなどを審議し、毎年度策定する年間計画によりF D・S D研修を実施し、教育研究活動及び事務業務等の支援を行っている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教育学部	70人	87人	124%	300人	344人	114%	10人	3人
合計	70人	87人	124%	300人	344人	114%	10人	3人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教育学部	71人 (100%)	人 (%)	70人 (98.6%)	1人 (1.4%)
合計	71人 (100%)	人 (%)	70人 (98.6%)	1人 (1.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
小学校、特別支援学校、幼稚園、保育所、施設、一般企業				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
教育学部	72人 (100%)	71人 (98.6%)	人 (%)	1人 (1.4%)	人 (%)
合計	72人 (100%)	71人 (98.6%)	人 (%)	1人 (1.4%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>各教員は、シラバス作成要領に則り、授業形態(方法)、ナンバリングコード、授業概要、達成目標、15回の授業計画、成績評価の方法・基準に加え、成績評価フィードバックの具体的方法、時間外学習の内容や時間、その参考となるテキスト・参考書等を明確に記載している。</p> <p>令和元年度からは、授業科目ごとに、ディプロマ・ポリシーと達成目標との関連性を明示するとともに、学習意欲や定着度を高めるアクティブ・ラーニングを推奨するため、その内容の記載欄を設けた。</p> <p>本シラバスは、「講義概要」として印刷し、年度当初のオリエンテーション時に全学生及び教職員に配布し、本学ホームページ上でも公表している。</p> <p>『山口学芸大学シラバス』  <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/syllabus_gakugei2019.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/syllabus_gakugei2019.pdf</a></p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
<p>本学では、成績評価に関する基準にあたっては、学則及び「履修方法に関する規程」、「単位認定及び試験に関する規程」に定め、各規程やシラバスに示した評価方法・基準に基づき、総合的かつ厳正に評価を行い、単位認定をしている。</p> <p>成績評価については、学則第35条に規定されているS(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(60点未満)の100点法・5段階評価とし、Dの場合は単位を認定していない。その科目の出席時数が総授業時数の3分の2に満たない場合も、原則として単位は認定しない。</p> <p>本学では、GPAの仕組みも導入している。GPAは学内の運用規程で定めた算定方法(Sの単位数×4+Aの単位数×3+Bの単位数×2+Cの単位数÷履修登録単位数)により、学生部教務課が学期GPA及び通算GPAを算出し、学科教務担当教員に通知している。当該運用規程には、履修登録科目の途中放棄等の留意点も明記している。学期GPA1.00未満が2期、または3期連続する者には面接指導を行うなどして、退学防止に努めている。</p>

卒業論文も卒業要件の必修科目とし、通年のゼミナールとして概ね 30 時間で 2 万字以上の論文執筆を指導する。その際、題目届や論文・要旨集原稿の提出期限の厳守、最終報告会での報告を義務づけている。シラバスには、主査が総合的評価 80%、副査が研究成果の評価 20%という評価方法と 5 つの評価基準を明示しており、総合得点で厳格に単位認定している。

卒業の認定に当たっては、ディプロマ・ポリシーに則り、基盤的学士力を修得し、教育学部において定める資質・能力を身につけていること、かつ、大学に 4 年以上在籍し、学則 42 条(卒業要件単位数 124 単位以上規定)や学位規程、履修規程第 7 条(必修科目及び別表第 1 に示す最低単位数を各科目群について修得すること等の規定)に定められた要件が満たされていること、さらに、教員養成の機関として免許・資格取得状況について等を、教授会で確認・審議し、学長が決定している。

これらの基準は、全学生及び教員に配布する「学生ハンドブック 2019」に平易な表現でわかりやすく記載し、ホームページ上でも、以下のアドレスに公表している。

『教育方針（3つのポリシー）』

<http://www.y-gakugei.ac.jp/info/policy/>

『卒業の認定に当たっての基準について』

<http://www.y-gakugei.ac.jp/info/faculty-curriculum.pdf>

『学習成果の評価に関する方針（アセスメントポリシー）』

<http://www.y-gakugei.ac.jp/info/policy-assessment/>

『GPA 制度』

<http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00008-0.pdf>

『GPA 数値の分布状況』

<http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00002-0.pdf>

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育学部	教育学科	124 単位	有 無	60 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		<a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00002-0.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00002-0.pdf</a>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		①免許・資格の取得情報 <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/concept/elementary/index.html#03">http://www.y-gakugei.ac.jp/concept/elementary/index.html#03</a> ②学修時間の傾向 <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/pdf/seq4.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/pdf/seq4.pdf</a> ③授業アンケート <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00003-0.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00003-0.pdf</a> ④学修の満足度 <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00005-0.pdf">http://www.y-gakugei.ac.jp/info/002-00005-0.pdf</a>		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.y-gakugei.ac.jp/campuslife/campusmap/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
教育学部	教育学科	620,000 円	250,000 円	340,000 円	施設費 260,000 円 教育充実費 80,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 学生への経済的支援として、学納金の延納・分納制度、公的奨学金の取扱いのほか、本学独自の奨学金制度として、特待生奨学金制度、県外生特別奨学金制度を設けている。 <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/campuslife/support/scholarship/">http://www.y-gakugei.ac.jp/campuslife/support/scholarship/</a>
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 大学全体のキャリア支援を統括する機関としてキャリア支援センターを設置し、その下に職種に応じて適切な支援を行うことを目的に、就職支援室、教職支援室、保育職支援室を置いている。また、全学的なキャリア支援について審議する組織として、学部や各室などの代表からなるキャリア支援委員会を組織し、教職協働で支援を行っている。就職状況は好調で、教員採用試験の現役合格率は全国でもトップクラスの高水準を維持し、保育職就職率も100%が続いている。 <a href="http://www.y-gakugei.ac.jp/career/">http://www.y-gakugei.ac.jp/career/</a>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 毎年4月上旬に、学生全員の健康診断を実施している。診断項目は、計測（身長・体重・視力）・胸部X線・内科検診である。これらの結果と併せて、BMI値も診断票に記入し、健康相談の資料としている。検査を必要とする学生に対しては、個別に対応し、別途検査結果を保健室に提出するよう指導している。 保健室では、日常の学生からの健康相談に加え、健康安全に関する知識や理解を深めることを目的として、年4回の保健室だよりと、インフルエンザ等季節における流行疾患の注意喚起を促す資料等を発行し、学内の掲示板にて周知を図っている。 メンタル面についても保健室で体調管理の面と併せて指導を求める学生が多いため、対応した看護師・学生課そして学科教員が連携し、相談内容によっては臨床心理士の指導も加えて対応できる体制を整えるとともに、保健室は学生の心身の健康支援上重要な位置付けをなしている。

心理的・精神的な悩みや問題を抱える学生の支援は、学生相談室が中心となってその任務を担っている。平成 30 年度は、本学及び併設短期大学の専任教員 4 人（うち臨床心理士資格保持者 1 人、臨床発達心理士資格保持者 1 人）を配置した。

学生相談室の開室時間は、週 4 日（1 日 2 時間）である。平成 27 年度以降の保健室業務の充実に伴い、学生相談は保健室と連携することでさらに充実させている。

<保健室>

<http://www.y-gakugei.ac.jp/campuslife/support/medical/index.html>

<学生相談室>

<http://www.y-gakugei.ac.jp/campuslife/support/advice/index.html>

#### ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.y-gakugei.ac.jp/info/disclosure/>